

令和6年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和7年3月31日時点)

施設名	港区立南麻布地域包括支援センター（麻布地区高齢者相談センター）						
指定管理者	社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	—
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規	常勤	非常勤	非正規	常勤	非常勤	委託（シルバー人材センター等）	合計
職員数	10	10	0	0	0	0		10
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	備 考		
正規・非正規職員の退職者数	2	2	1					

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	備 考
総合相談件数（件）	8,222	8,395	8,458			
予防プラン作成件数（件）	3,195	3,198	3,022			
訪問件数（件）	1,544	2,133	1,921			

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	56,656,203	60,276,366	69,686,691	0	0
	指定管理料（清算後）	51,603,167	55,655,991	65,148,915		
	利用料金収入	5,053,036	4,620,375	4,537,776		
	その他収入					
	支出	51,916,170	55,023,208	65,531,770	0	0
	職員人件費	45,645,434	48,317,297	57,282,539		
	光熱水費	247,562	232,069	223,396		
	修繕費	0	0	0		
	事業運営費	5,425,666	5,996,988	7,701,205		
	施設管理経費	495,270	392,233	137,153		
	その他経費	102,238	84,621	187,477		
	差引収支額	4,740,033	5,253,158	4,154,921	0	0
	年度協定書で定める指定管理料	58,265,000	59,811,000	74,345,200		

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / 5	- / 5	×1	- / -
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	- / 5	- / 5	×1	- / -
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / 5	- / 5	×1	- / -
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	3 / 5	3 / 5	×2	6 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	1 / 5	1 / 5	×1	1 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	3 / 5	3 / 5	×3	9 / 15
区による評価合計点						61 / 85

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	地域包括ケアを推進するために、地区地域ケア会議を7回開催し、そこで課題として挙げた介護離職について、区全体の課題として、区とともに課題共有を行いました。 地域との連携については、認知症サポーター養成講座を学生、区民等に実施し、認知症の正しい理解の啓発に努めるとともに、多職種向け勉強会や課題検討会を定期的に行うことで、地域の関係機関との連携を強化することができました。事業の運営のほか、高齢者支援課と協力し、情報収集や情報提供を行いました。 また、麻布地区総合支所と連携し、困難事例に対応しました。
区（施設所管課）による評価	地区地域ケア会議に力を入れ、課題の重要性を考慮し、区とともに多くの関係者や有識者と地域課題における改善方法を検討することができました。 認知症サポーター養成講座など区民向けの啓発活動を継続的に実施し、地域への福祉的側面での貢献が認められます。また、専門職向けに勉強会、課題検討会を開催することで多職種連携の促進、課題解決に対する考え方の共有が図られています。今後とも、地域における関係機関との連携強化に期待します。

6 評価

令和6年度の管理運営に関する総合評価	B
--------------------	---

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

- S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
- A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
- B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
- C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）